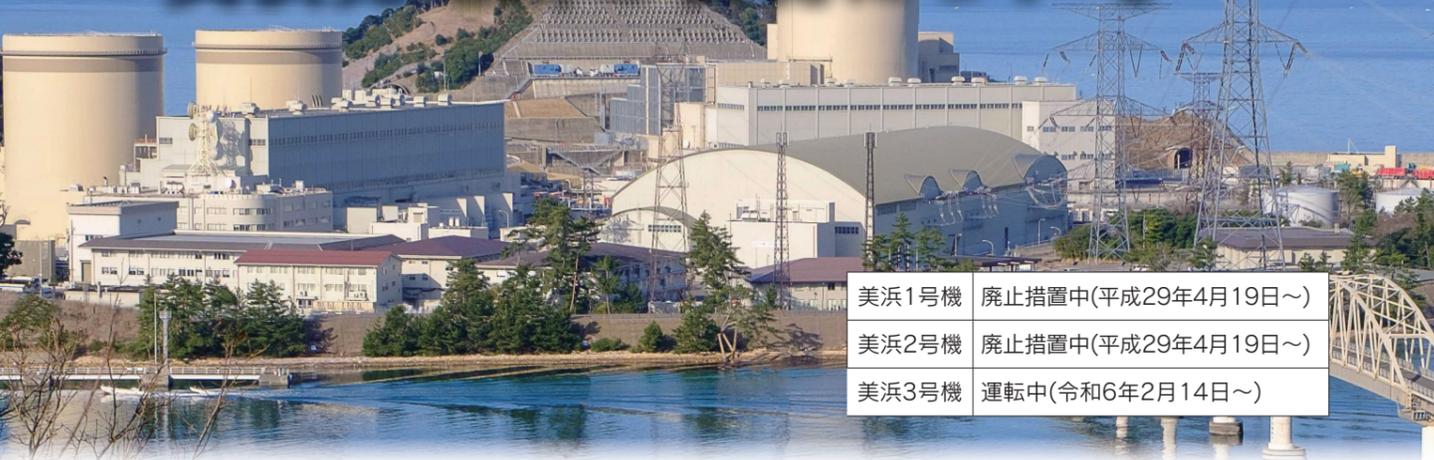


# 美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和6年2月14日～)



↑意見交換会で国の見解を求める戸嶋町長

**全国原子力発電所所在市町村協議会の総会が開催されました**

5月22日に、全国原子力発電所所在市町村協議会の総会が、全国都市会館（東京都）で開催され、副会長である戸嶋町長と会員の川畑議長が出席しました。

当日は、同協議会の会員及び準会員である28市町村の首長や議長等が出席し、令和5年度の事業報告や令和6年度事業計画（案）等が審議され、可決されました。

議案審議後に行われた国との意見交換では、経済産業省や内閣府等の関係機関出席のもと、原子力発電を取り巻く課題等について、活発な意見交換が行われました。

意見交換で戸嶋町長は、次のとおり国の見解を求め、各担当省庁から回答を得ました。

**問** 昨年度閣議決定されたGX推進戦略において、国の責務として立地地域の振興に取り組む姿勢が示された。原子力発電事業は、立地地域の理解と協力、信頼関係が柱であるので、立地目線に立ち誠意をもって取り組むこと。

**答** 原子力の利用を進めていく上で、国、立地自治体、電力事業者が持続的な発展にむけて取り組むことが重要である。原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議の議論等も踏まえながら、実現に向けて取り組んでいく。

（経済産業省 資源エネルギー庁）

**問** 能登半島地震により、原子力災害時の避難方向に制約を受ける本町の避難道路（制圧道路）の多重化・強靱化の重要性を改めて認識した。立地地域の安全安心の確保は国の重要な責務であり、この避難道路の多重化・強靱化について早急に進めること。

**答** 避難において、特に必要と思われる道路については、関係省庁と協力して自治体の負担を軽減する方策がとれないか検討している。

（内閣府）

↑総会開催の様子

**立地地域の振興**

**問** 昨年度閣議決定されたGX推進戦略において、国の責務として立地地域の振興に取り組む姿勢が示された。原子力発電事業は、立地地域の理解と協力、信頼関係が柱であるので、立地目線に立ち誠意をもって取り組むこと。

**答** 原子力の利用を進めていく上で、国、立地自治体、電力事業者が持続的な発展にむけて取り組むことが重要である。原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議の議論等も踏まえながら、実現に向けて取り組んでいく。

（経済産業省 資源エネルギー庁）

**避難道路（制圧道路）の多重化・強靱化**

**問** 関西電力が示した使用済燃料対策ロードマップについて、事業者からは、国とともに不転載の決意を進めるという意思表示がなされた。この実現に向けて、早急に取り組むを進めること。

**答** ロードマップについて、令和6年1月、経済産業大臣が出席する使用済燃料対策推進協議会を開催して事業者に報告を求めており、この内容が確実に履行されるよう、進捗を確認、指導していく。

（経済産業省 資源エネルギー庁）

**バックエンド対策の確実な推進**

**問** 関西電力が示した使用済燃料対策ロードマップについて、事業者からは、国とともに不転載の決意を進めるという意思表示がなされた。この実現に向けて、早急に取り組むを進めること。

**答** ロードマップについて、令和6年1月、経済産業大臣が出席する使用済燃料対策推進協議会を開催して事業者に報告を求めており、この内容が確実に履行されるよう、進捗を確認、指導していく。

（経済産業省 資源エネルギー庁）

**立地地域の振興**

**問** 昨年度閣議決定されたGX推進戦略において、国の責務として立地地域の振興に取り組む姿勢が示された。原子力発電事業は、立地地域の理解と協力、信頼関係が柱であるので、立地目線に立ち誠意をもって取り組むこと。

**答** 原子力の利用を進めていく上で、国、立地自治体、電力事業者が持続的な発展にむけて取り組むことが重要である。原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議の議論等も踏まえながら、実現に向けて取り組んでいく。

（経済産業省 資源エネルギー庁）

**コラボほしまつりを開催します**

美浜駅前の活性化を目的に、町内のまちづくりグループが「コラボほしまつり」を開催します。

皆さん、ぜひ遊びに来てください。

●日時 7月7日（日）  
午前10時～午後2時

●場所 JR美浜駅  
道の駅狭美浜はまびより

●内容 大判焼き等の各種出店、音楽ライブ  
（問）美浜駅前イベント実行委員会  
☎32-0239

**教室・講座・説明会等**

**テニス教室（硬式）を開催します**

●日時 毎週金曜日 午後7時～9時  
全10回開催（8月23日から開始）

●場所 総合運動公園 テニスコート

●定員 30名程度

●募集期間 7月17日（水）～31日（水）

●その他  
・参加者は、ラケットとテニスシューズを持参し、運動に適した服装をお願いします。  
・未成年者（18歳未満）は保護者の同意を得て申し込みをしてください。小学生（3年生以上）で参加を希望する場合は、テニス協会の方と相談してください。  
・詳細は、後日各区分で回覧される募集要項をご確認ください。

（問）町スポーツ推進室（担当・塚原）  
☎32-6709

**ひきこもり相談会を開催します**

町では、ひきこもり等の悩みを相談いただける相談会を開催します。悩み事やちよつと話を聞いてほしいこと等がありましたら、ぜひこの場をご活用ください。

●日時 7月11日（木）  
①午後1時30分～2時30分  
②午後2時30分～3時30分  
③午後6時30分～7時30分  
④午後7時30分～8時30分

※いずれかの時間をお選びください。なお、③④は事前予約のみ対応です。

●場所 はあとびあ

●方法 次のいずれかの方法で相談が可能です。  
・来所による面談・電話  
・オンライン

●対象 どなたでも

●費用 無料

●申込 事前予約が必要ですが、空きがあれば当日受付もできます。

**健康づくり活動リーダー研修会開催のお知らせ**

●日時 7月10日（水）  
午後1時30分～3時

●場所 なびあす  
コミュニケーションルーム

●講師 （株）ほつとりハビリスシステムズ  
吉本典史一理学療法士

●内容 住民主体の健康づくり活動の重要性について

（問）町健康福祉課（担当・植中）  
☎32-6704

**美浜町子ども・子育てサポートセンターの催しをお知らせします**

○さくらんぼひろば  
「ちびっこなつまつり」

●日時 7月23日（火）  
午前10時30分～11時15分

●場所 はあとびあ

●その他  
①②の時間帯は県ひきこもり支援コーディネーター、社会福祉士等、  
③④の時間帯は社会福祉士や保健師等が対応します。相談内容等の秘密は、厳守しますので安心してご相談ください。

（問）町健康福祉課（担当・中村/前）  
☎32-6704

**町健康福祉課（担当・中村/前）**

●対象 町内在宅児 30組

●内容 コーナー遊びや体操等を楽しみましょう。

●申込 7月8日（月）から 19日（金）

○育児講座  
「足の発達と靴選び」

●日時 7月12日（金）  
午前10時30分～11時15分

●場所 はあとびあ

●対象 町内の在宅児 10組

●内容 お子さんの足に合った靴選びのコツを教えてください。

●申込 7月5日（金）まで

○育児講座  
「わらべうたあそび」

●日時 7月31日（水）  
午前10時30分～11時15分

●場所 はあとびあ

●対象 町内の在宅児 10組

●内容 親子で歌ったり触れ合ったりしながら楽しみましょう。

●申込 7月16日（火）から 26日（金）

（問）町子ども・子育てサポートセンター（担当・濱野）  
☎32-0192



健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

## 脱水に気をつけよう！

脱水とは、体から体液を失うことです。体液は主に水と塩分でできています。

### 脱水にならないために…

- ・3食バランスのよい食事をする
- ・のどの渇きを感じる前に水分を摂取する
- ・涼しい環境を保つ(夏は気温が高いため扇風機や冷房を使いましょう)



### ◎ 特に子どもと高齢者は注意が必要です！

- 子ども**
- ・体重あたりの不感蒸泄(皮膚や呼吸から失う水分)が多い。
  - ・尿や汗を調節する機能が未熟で、多くの水分を失う。
- 高齢者**
- ・若い頃と比べて、からだに水分を蓄えにくい。
  - ・暑さやのどの渇きを感じにくく、脱水に気づきにくい。



### 脱水になるとみられる症状

- ・軽度：のどや口の渇き・頭痛  
立ちくらみ・食欲不振
- ・中等度：悪心・嘔吐・めまい
- ・重度：意識障害・けいれん・昏睡

### 軽度～中度の脱水の場合…経口補水液を摂取！

経口補水液とは、水・塩分・糖分をバランス良く含み、体への速やかな吸収に優れた成分になっています。まずは、500ccを無理のない範囲で摂取してください。



食べたり、飲んだり、することができない、意識がはっきりしていない等、重度の時はすぐに病院へ！



※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・中西) ☎32-6704

### あおぞらの会(認知症家族などの会)に参加しませんか？

あおぞらの会は、認知症等の家族を介護している方や介護を経験された方が集い、日々の悩みや苦労、介護のコツ等を安心して話すことができる場所です。一人で悩まず、日頃の介護の悩みや不安を話してみませんか。

- 開催日時** 毎月第3木曜日 午後1時30分～3時  
**場所** 耳公民館  
**参加費** 無料  
**申し込み** 不要(日程が変更となる場合がありますので、一度お問い合わせください)  
**代表** 田村 孝子  
 ※この集いは地域包括支援センター職員も参加しています。

※お問い合わせ先 町健康福祉課 地域包括支援センター(担当・山口) ☎32-6704

## 熱中症対策

# 昔話 ふるさとよもやま話 (146)

美浜と軽井沢の不思議なご縁  
～三笠ホテルの創業者 山本直良～

若狭国吉城歴史資料館では、7月21日まで北陸新幹線敦賀開業記念企画展(前期)『美浜と軽井沢の不思議なご縁～旧三笠ホテルと美浜の実業家山本家～』を開催しています。

美浜町と新幹線沿線の長野県軽井沢町との歴史がつかないだご縁について、5月号では軽井沢町にある国重要文化財の旧三笠ホテルについて紹介しました。今月はその創業者で、美浜町ゆかりの実業家・山本直良について紹介します。

山本直良は明治3年(1870)2月、佐柿ゆかりの旧小浜藩士で、後に岩倉具視を支えた実業家・山本直成の次男として生まれました。出

生地は小浜町(小浜市)とされますが、同年1月に父直成が岩倉から東京への引越しを命じられたという記録もあり定かではありません。獣医を志し、帝国大学農科大学(東京大学農学部)を卒業後、一時は獣医の職に就いていました。しかし、同30年(1897)に兄直行が亡くなると、家督を相続し、父直成と同じく実業家の道に進みます。初めは岩倉家に仕え、のちに十五銀行(三井住友銀行)や日本郵船、明治製糖(DM三井製糖ホールディングス)等の役員を務めました。

また、彼は父直成が軽い軽井沢に購入した25万坪の広大な土地を避暑地として開発しました。その一環として、明治39年(1906)に三笠ホテルを開業し、ここを拠点に新たな地場産業を興しました。京都出身の陶芸家宮川香山を招いて三笠焼を開窯し、同ホテルに陶磁器製作所を設置しました。三笠焼と併せて、木通つる細工やろくろ細工、軽井沢彫等を農閑期の仕事として奨励し、三笠商店を設けて販売しました。その他、外国人向けに食用の綿羊を飼育したり、蔬菜の栽培を行う等、さまざまな事業を展開しました。



↑明治末期(大正初期とも)の三笠ホテルでの晩餐会(午餐会とも、土屋写真店提供)。左から5人目が山本直良。

後に彼は、軽井沢の観光と産業の一体化を図り、養殖漁業や植林の奨励、日本人向けの宿泊施設や大マーケットの建設、上野―軽井沢の夏季限定列車の運行等、大きな開発計画を描いていたことを語っています(軽井沢の発展策『住宅』第14号)。

妻は有島武郎の妹愛子で、その孫には映画『男はつらいよ』の主題歌の作曲家で知られる山本直純がいます。その他にも実業家や芸術家の子孫が名を連ね、父直成を含め、山本家は佐柿が生んだ「華麗なる一族」といえるでしょう。

7月27日から開始する後期展示では、山本家一族が美浜町内に残した遺産や功績について紹介しています。

皆様の来館をお待ちしています。

## 文芸欄

### 短歌

美浜町短歌協会

川魚食す習慣なけれども

いさぎ味噌汁せめてもう一杯

田波 耕 (竹波)

山霞む野には菜の花朧月

牟月の宵の心和みぬ

高木 勝美(新庄)

若狭路に春の訪れ王の舞

平安の伝へ氏子守りし

三宅 宏 (大藪)

コシアブラ・うどの若芽をいただきぬ

家族で春の苦味味はふ

川崎 和美(久々子)

若き等に助けられての三日間

やうやく務む祭りの頭屋

松下 幸子(久々子)

## 慶弔

5/1～5/31受付分  
(敬称略)

### ◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
山口 結 <sup>いと</sup> 士	男	竜也・佑奈	気山
森山 翔 <sup>しょう</sup> 喜	男	和哉・友紀	松原
平井 汐 <sup>せ</sup> 蘭	女	翼・史織	河原市
松木 結 <sup>ま</sup> 方	女	博志・乃ノ歌	佐柿

### ◎ご結婚

氏名	住所
塩田 隆人 & (谷口) 由紗	佐田

### ◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
中谷 房子	河原市	92	中谷 敏治
山口 千代	大藪	100	金深 孝子
武本 繁	菅浜	55	武本 貢
加藤 進	日向	84	加藤 佐久代
石丸 利夫	山上	95	石丸 雅宏
金津 千代子	菅浜	96	金津 雄次
橋詰 艶子	山上	98	橋詰 義雄

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

## 町人<sup>まちびと</sup>さん

県予選大会で優勝し、6月15日から東京都で開催される、全国選抜ゲートボール大会へ美浜町から7年ぶりに出場する美浜エイジレスの皆さん



(後列左から)  
木村 咲子<sup>さきこ</sup>さん 高木 英子<sup>ひでこ</sup>さん 池田 秀子<sup>ひでこ</sup>さん  
(前列左から)  
石丸 紀子<sup>のりこ</sup>さん 榎本 恵子<sup>けいこ</sup>さん 武田 トモエさん

\*全国大会に向けて抱負を教えてください。  
このチームは、初めて全国大会に出場するため、少し不安がありますが、一戦一戦チームワークの良さを武器に頑張りたいです。

※6月11日取材

## 人口の動き

人口総数	8,761人(-10)
男	4,304人(± 0)
女	4,457人(-10)
世帯数	3,626世帯(+ 5)
出生 5人	死亡 12人
転入 13人	転出 16人
みはま応援クルー(※)	359人(+15)

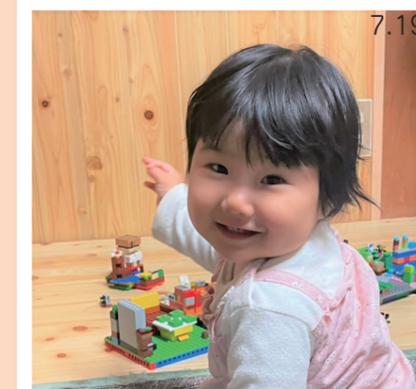
※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を愛し、応援して下さる方」のこと。



町の情報や応援クルーの情報はこちら!

HAPPY BIRTH DAY   
はじめてバースデー   
7月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

「はじめてバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月に送付しています。ぜひ、ご応募ください。



武田 紋佳<sup>あやか</sup>ちゃん (久々子) 父 忠大さん 母 洋子さん

密かないはずらとはにかみ笑顔がかわいいよ(^^)すくすく大きくなってね!



熊崎 千凌<sup>せんのり</sup>くん (佐田) 父 淳哉さん 母 有加さん

## 広報クイズ

広報みはま7月号を読んで、①～④番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」や「ゆ」、「・」、「が」、等も一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①●○○食びより
- ②災害に○●○○体制強化
- ③避難道路(○○○●道路)の多重化・強靱化
- ④第60回美浜町民○○○●○○○大会

### ●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】  
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp  
【二次元コード】



締め切りは、7月10日(水)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

- 6月号の答え あじさい
- 応募者総数は25人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。